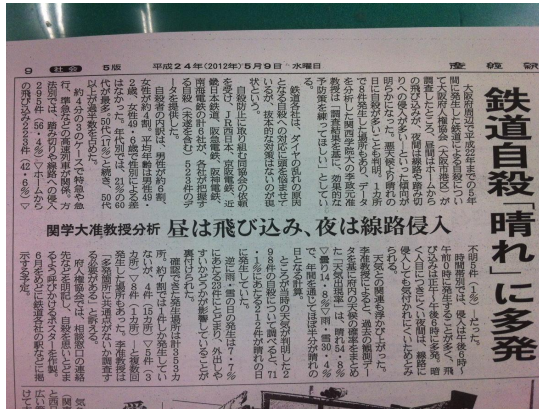


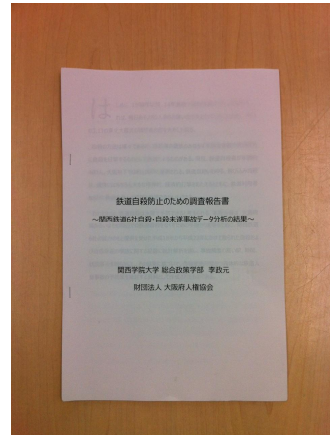
活動助成（2010年度募集）活動実績報告書

団体名	財団法人大阪府人権協会
活動テーマ	ストップ！The 鉄道自殺・JR版 ・年間3万人以上の自殺者があるなか、大阪府内中心に鉄道自殺が毎年年間100件位あるとされている。その事故状況を解析し、鉄道自殺防止につながるような具体案を考える足掛かりとする。 ・鉄道会社と自殺防止に取り組む民間団体が協力して鉄道自殺者軽減のための具体的手立てを協力し考えていく。

産経新聞 H24年5月9日朝刊



鉄道自殺事故解析結果報告書



鉄道自殺防止企画会議 H23年2月17日



鉄道自殺防止企画会議 H23年2月17日



関西でこのような鉄道会社の枠を超え鉄道自殺データ解析は初めてのことであり、鉄道自殺防止の具体策の手掛かりとなる実態や課題を明確にできた。

在阪鉄道会社の協力を得ることができ、鉄道自殺防止のための啓発ポスターを一齐に掲示できることとなり、鉄道自殺防止の一步となった。

JR西日本旅客鉄道株式会社、阪神電鉄株式会社、阪急電車株式会社、南海電鉄株式会社、近畿日本鉄道株式会社、京阪電鉄株式会社、関西大学李准教授、自死遺族弁護団、NPO法人多重債務による自死をなくす会コアセンター・コスモスとNPO法人国際ビフレンダーズ大阪府自殺センター、財団法人大阪府人権協会とが協力して、今後も鉄道自殺防止の取り組みを行っていくネットワークを作った。

ホームに防護柵を設けることが一番の効果があることは確かであるがそれには莫大な費用が掛かる。今できる事を鉄道会社と一緒に考えられればと、鉄道自殺防止協議会を作り、在阪電鉄会社5社とJR西日本旅客鉄道株式会社、自死遺族支援団体、解析作業を依頼した専門家と共に3回の会を開催した。

その中から出た意見を集約し、すぐにできることを行うということでホームに自殺を考える人に思いとどまってもらえるよう、相談機関の電話番号を掲載したポスターの掲示をお願いした。